

学校名 淀川中学校

実施日 平成29年1月12日(木)

【 第 1 学 年 】

生徒数(人)

98

平均点(点)

平均無解答率(%)

	国語	数学	英語
学校	68.7	49.7	57.4
大阪市	67.0	50.6	60.8
大阪府	68.3	52.5	62.7

	国語	数学	英語
学校	4.6	9.2	6.4
大阪市	3.6	6.2	5.0
大阪府	3.4	6.1	5.1

結果の概要

平均点では大阪市・府と比較すると、国語はわずかではあるが、上回っている。数学、英語は1から最大5点下回っている。平均無解答率では全教科とも大阪市・府を上回っている。特に数学は3%以上、上回っている。

成果と今後取り組むべき課題

言語的な能力や読む力など、国語の基本的な力については平均的であると考えられる。その力を基本として、他の教科や様々な学習活動に生かすことが必要である。そのためには学習意欲を高める様々な工夫が必要である。

【 第 2 学 年 】

生徒数(人)

110

平均点(点)

平均無解答率(%)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	53.4	40.3	44.8	56.2	46.2
大阪市	56.9		49.6		51.3
大阪府	58.1		51.3		53.3

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	9.9	16.0	18.8	9.1	10.7
大阪市	6.9		13.0		7.2
大阪府	6.3		12.6		6.8

結果の概要

大阪市・府との平均点の比較において、国語・数学・英語で3点から7点下回り、平均無回答率では3から6%上回っている。

成果と今後取り組むべき課題

他のアンケート調査で、家庭での学習時間が短く、ほとんど学習しないと答える生徒も多く、学習意欲に大きな課題を抱えている。基本的な学習による知識の習得とともに、得た知識を応用する学習を積極的に取り入れる必要がある。また、評価に工夫するなど、やればできるという自信を持たせ、積極的な姿勢が身につくような授業づくりが必要である。